

道の駅「月見の里南濃」における特産品流通システム

事業名：経営構造対策事業（平成15年度認定）
 地区名：岐阜県南濃町羽沢地区
 事業主体：南濃町
 施設名：農畜産物処理加工施設・産地形成促進施設 1棟335.52㎡（H15繰越）
 事業費：116,735千円（国費：58,367千円）

1. 各組織の概要

組織名	町農産物直売所出荷者協議会	町農産物処理加工組合
構成員	51人	16人
設立年月日	平成16年7月10日	平成16年5月26日
業務内容等	消費者に新鮮で良質、安全な農産物の供給に励み、農業の活性化と消費者とのふれあいの場づくりをも目指し、担い手となる経営体の確保、育成を図る。	町内の農畜産物を食材として、消費者に安全、安心を提供するため、新鮮でかつできるだけ減農薬栽培のものを使用するとともに、町のイメージにあったものを加工する。
連絡先	南濃町役場産業振興課 岐阜県海津郡南濃町駒野奥条入会99-2 0584-55-0111 http://www.nannou.com	

2. 取組概要

(1) 施設導入経緯

羽沢地区は、これまで水稻を中心に果樹・畜産が主に営まれており、東部の津屋川沿いの低地地域で主に水稻と柿・畜産・野菜の複合経営が、東部の山沿いの地域では、この他にみかんが盛んに栽培されています。しかし、近年米価をはじめとした農産物価格の低下傾向により、効率的な土地利用、生産性の高い農業を実現するため、農用地の高度利用と担い手育成の確保をする必要性。また、地域間交流人口の拡大や産地直売の盛り上がりがある中、農畜産物の加工・販売を含めた、新たな産地直売を流通の一形態とした体制が望まれていた。

(2) 取組概要

平成15年度に羽沢地区において、経営構造対策事業を実施し、営農組織の結成や農地の集積により低コスト生産体制の確立と経営規模の拡大を図り、更に、クリーン農業の下、高品質な農産物の生産に取り組み、特にロットが確保出来ない農産物と農畜産物の加工品の市場外流通で販売することにより、市場の価格形成力の確保と農産物の換金を行う機会を増やし農業所得を向上し、また、多品種産地の形成を推進する。

現在、営農組合を中心とした効率的な活動と認定農業者及びオペレータの確保の推進と農産物の確保を図っています。

3. 目標設定

(1) 全国共通目標

認定農業者の育成					担い手への農地の利用集積 上段：集積率(%)、下段：面積(ha)			遊休農地の解消	
計画時(人)	目標(人)	増加率(%)	市町村目標割合(%)	地区目標割合(%)	計画時	目標	増加ポ イント	計画時 (ha)	目標 (ha)
8	10	125	2.0	2.6	(12.5%) 6.4	(25.3%) 13.0	12.8	0.0	0.0

(2) 地区選択目標

女性の経営参画		雇用機会の増加	
計画時(協定数)	目標(協定数)	計画時(人)	目標(人)
0	2	0	2

整備施設

施設全体



施設内部（作業風景）

